

事業一覽

●特別展覽會

院政期の仏像―定朝から運慶へ―

会期 二月五日(火)―三月十七日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

うきよ絵名品展

会期 四月十六日(火)―五月十二日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・東京国立博物館・京都新聞社

ドイツ・トゥルファン探検隊 西域美術展 ―シルクロードへのいざない―

会期 七月二十三日(火)―九月八日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・東京国立博物館・朝日新聞社

日本人が好んだ中国陶磁

会期 十月八日(火)―十一月十日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

●特別陳列(▽印は定例的な陳列)

▽鉄斎 一月四日(木)―二月十二日(月・休)

新館 9号室 担当 金沢 弘

▽高台寺時絵と南蛮漆器 一月四日(木)―二月十七日(日)

新館 15・17号室 担当 灰野昭郎

▽禅定寺の仏像 一月四日(木)―三月十七日(日)

新館 6号室 担当 伊東史朗

▽古筆と手鑑 一月二十九日(火)―三月十日(日)

新館 13号室 担当 下坂 守

▽人形 二月二十一日(木)―三月三十一日(日)

新館 14・17号室 担当 河上繁樹

▽新収品展 六月五日(火)―七月七日(日)

新館 12・13・17号室

藤井永観文庫の名品 十月二日(火)―十一月十日(日)

新館 12・13号室 担当 下坂 守

新収品展II 京漆器の美 十一月二日(金)―十二月二十五日(水)

新館 17号室 担当 灰野昭郎

新収品展II 森岡コレクション 十一月十三日(金)―十二月二十五日(水)

新館 12・13号室 担当 西上 実

●出版刊行

『院政期の仏像―定朝から運慶へ―』 特別展覽會目録 二月

特別展覽會「院政期の仏像―定朝から運慶へ―」の概説および出品作品の

解説付き総目録。B5判、総一八四頁、図版原色三二、単色一六八。頒価

千五百円。

『うきよ絵名品展』 特別展覽會目録 四月

特別展覽會「うきよ絵名品展」の概説および出品作品の解説付き総目録。

A4判、総二八七頁、図版原色二六二。頒価二千二百円。

『笠翁細工』 三月

平成元年度の特別展覽會「18世紀の日本美術」に出陳された笠翁細工・小

川破笠の作品を収録、概説と作品解説を付す。24cm×26cm判、総八二頁、

図版原色五七、単色八六。頒価千五百円。

『京都国立博物館 学叢』 第十三号 三月

当館職員による研究紀要。論文四篇、作品研究一篇、資料紹介一篇、修理

報告、銘文集成、研究彙報などを収録。A4判。総一五二頁。図版原色六、

単色一九。頒価三千円。

『ドイツ・トゥルファン探検隊 西域美術展』 特別展覽會目録 四月

特別展覽會「ドイツ・トゥルファン探検隊 西域美術展」の概説および出

品作品の解説付き総目録。A4変判、総二二七頁、図版原色一七〇、単色

一。頒価二千円。

『研究発表と座談会 後白河院政期の仏師と仏像』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書二一冊 七月

平成三年三月四日に行われたシンポジウムの報告書。A4判。総三八頁、図版単色二六。頒価千五百円。

『日本人が好んだ中国陶磁』 特別展覧会目録 十月

特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」の概説および出品作品の解説付き総目録。B5判、総二四〇頁、図版原色四一、単色二九三。

●シンポジウム

研究発表と座談会「後白河院政期の仏師と仏像」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表 上山春平）
期日 三月四日（月）
会場 京都国立博物館

参加者 一〇〇名

研究発表 後白河院政期の仏像（伊東史朗）、院尊と明円（清水真澄）、康慶と運慶—いわゆる「宋風」と天平（平安初期）復古について—（浅井和春）

座談会（司会 肥塚 隆）

研究発表と座談会「キジルを中心とする西域仏教美術の諸問題」
主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表 藤澤令夫）
期日 八月二十六日（月）

会場 京都国立博物館

参加者 一〇〇名

研究発表 ベゼクリク壁画から見た西域北道仏教の一形態（百濟康義）、キジル石窟の構造と壁画・彫塑の図像構成（宮治 昭）、キジル石窟の説話画の形式と年代（中野照男）

座談会（司会 泉 武夫）

●国内における調査研究

わが国古代寺院における古新羅の要素 担当 森 郁夫

真言密教を中心とする仏教美術資料の集成とその研究 担当 泉 武夫ほか

大覚寺の文化財調査 担当 伊東史朗ほか

●海外における調査研究および出張

難波洋三 平成二年十二月十七日—一月十六日（行先 米国）

先史・原史考古に関する研究。

河上繁樹 一月二十一日—一月三十日（行先 米国）
特別展覧会「院政期の仏像」借用文化財の随伴及び在米日本染織品の調査研究。

河原正彦 二月四日—二月八日（行先 韓国）
陶磁に関する調査研究。

灰野昭郎 二月八日—二月十四日（行先 韓国）
特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」出品文化財の事前調査。

赤尾栄慶 二月八日—二月十四日（行先 韓国）
特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」出品文化財の事前調査。

金沢 弘 二月十七日—二月二十五日（行先 ドイツ）
中世絵画に関する調査研究。

河原正彦 二月十七日—二月二十五日（行先 ドイツ）
陶磁に関する調査研究。

狩野博幸 二月十七日—二月二十五日（行先 ドイツ）
近世絵画に関する調査研究。

西上 実 二月十七日—二月二十五日（行先 ドイツ）
中国絵画に関する調査研究。

難波洋三 二月十七日—二月二十五日（行先 ドイツ）
先史・原史考古に関する調査研究。

河原正彦 三月十日—三月十八日（行先 韓国）
特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」出品文化財の事前調査。

難波洋三 三月十日—三月十五日（行先 韓国）
特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」出品文化財の事前調査。

狩野博幸 六月二十七日—七月三日（行先 米国）
国際交流美術史研究会第10回シンポジウム出席及び近世絵画に関する調査研究。

狩野博幸 八月二十四日—九月十日（行先 ポーランド）

クラクフ国立博物館の浮世絵を含む日本絵画に関する調査研究。

森 郁夫 八月二十九日―九月一日（行先 韓国）

平成四年度特別展覧会「伽耶文化展」事前調査・打ち合わせ。

山本英男 九月一日―十一月三十日（行先 ドイツ・イギリス・フランス・米国）

文部省在外研究員として、「在外の中世水墨画」に関する調査研究を行う。

難波洋三 九月二十三日―九月二十七日（行先 韓国）

特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」出品文化財の運搬随行。

下坂 守 十月十二日―十月二十一日（行先 ドイツ・アメリカ）

平成四年度特別展覧会「かなの美」の出品文化財事前調査。

森 郁夫 十一月十一日―十一月十三日（行先 韓国）

考古に関する調査研究。

灰野昭郎 十一月十一日―十一月十三日（行先 韓国）

漆工に関する調査研究。

伊東史朗 十一月十一日―十二月四日（行先 イギリス）

「鎌倉彫刻展」開催による出品文化財の保護、陳列等の現地指導および出品

文化財日本国返却に随伴。

河上繁樹 十一月十四日―十一月十七日（行先 韓国）

特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」借用文化財返却に随行および染織

に関する調査研究。

灰野昭郎 十一月十八日―十一月二十四日（行先 米国）

漆工に関する調査研究。

赤尾栄慶 十一月十八日―十一月二十六日（行先 米国）

「一四九二年頃―大航海時代の美術」展に貸与する文化財に随伴。